

ご入学おめでとうございます



学年主任より

75期生の皆さん入学おめでとうございます。9日(木)に予定されていた入学式も延期になり、本当に残念です。世の中が「先の見通せない」世の中に、「今まで通り」が通用しない世の中になってしまいました。そのような中で、皆さんはこの鳳高校で3年間、高校生活を過ごすこととなります。本格的な高校生活のスタートも4月からではなく、今のところは5月からになります。

では、それまでの間どのように過ごしたらいいのでしょうか。3月の合格者説明会で私は「よりいい形で安心して高校生活をスタートするためにここで、完全に気持ちを切ってしまうのではなく、これからの半月を4月から高校生活のための準備期間としてもらいたいと思います。そのために、次の3つのことを守りましょう。」と話しましたが、覚えていますか。準備期間が延びただけです。3つのこととは、「規則正しい生活リズムを保ち健康に過ごしましょう」、「同じ時間に起きて朝食をとりましょう」、「毎日机に向かう習慣をなくさないようにしましょう」です。以上3つのことを守りましょうとお願いしましたが、守れましたか。守れなかった人も、今度は守ってください。

ここで、合格者説明会で話せなかったことを2つ書いておきます。ひとつめは、高校生活においてはいろいろなことに計画的に取り組み、よりよく改善をしていく習慣を身につけてもらいたいと考えています。このため予定を書いたり、したことを記録したりするための手帳を用意しました。次回登校日に配布予定ですが、それまでは各自で記録しておいてください。手帳形式の資料を用意しましたので、必要ならダウンロードして活用してください。ふたつめは、本校では8時30分登校後、10分間の読書の時間があります。本を読む習慣を身に付けることはもちろんのこと、登校してから1限目が始まるまでに気持ちを切り替えるためにも、貴重な時間だと考えています。読みたい本を用意しておいてください。

最後に、ジャーナリストの池上彰氏が著書の中で「学ぶということについて」考えさせられたというエピソードを紹介しておきます。

フィリピンではゴミの山から資源を集めては売り、労働力として生きる子どもたちがいます。ギャング同士の抗争に巻き込まれ、命を落とすこともあるそうです。そんな貧しい地域で生まれ育ち、ボランティアの支援で学ぶことができ、教師になった若者がいました。彼が語ってくれました。「私にとって教育とは決して人に盗まれることのない財産です」と。

(「池上彰の未来を拓く君たちへ」(日経ビジネス人文庫)p.55)

皆さんは「学ぶ」ということについてどう考えますか。鳳高校で高校生活を過ごしながら、考えていきましょう。ホームルーム教室でクラス全員がそろって会えるのを楽しんでいます。

クラス担任からのメッセージ



1組

浅井 綾子
国語

75期の皆様、ご入学おめでとうございます。1組担任の浅井綾子(あさいあやこ)です。担当教科は国語です。競技かるた部の主顧問と、女子ハンドボール部の副顧問をしています。本来ならば勉強も部活動も自治会活動も、高校生活をめいっぱい楽しんでほしいところですが、残念ながら休校措置が延長されてしまいました。一日も早く、皆さんと学校でお会いできることを楽しみにしています。

2組

山本 朗
理科

ご入学おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスによる先の見えない新生活の始まりですが、学校が始まったときにしっかり開始できるよう充電、準備しておいてください。学校が再開されたら、元気に登校して、勉強、クラブに頑張ってください。

3組

辻 智子
英語

ご入学おめでとうございます。3組担任の辻智子です。「世界で起こる出来事が『他人事』ではすまない。」と、ひしひしと感じる日々。でも、今のこの経験が"未来への備え"だったり、"希望"になるようにしていきたい。と思いながら暮らしています。自分以外の世界にも思いを向けると共に、「自分は〇〇な人だから…」と自分を括ってしまわず、様々な活動や学び・いろんな人との交流を通して、みなさんの中のたくさんの可能性を鳳高校での生活の中で見出してほしいです。どうぞよろしくお祈りします。

4組

和田 康佑
英語

ご入学おめでとうございます。1年4組担任「和田 康佑(わだ こうすけ)」です。教科は英語科で、75期生の生活指導の担任をします。生活指導というと、みなさんの間では「小うるさい事を言うてくるうざい奴!」という認識でしょうか。確かにその一面もあるかと思いますが、生活指導とは「生徒が安心安全な日々を過ごせるように指導する」というスタンスである故の行動である事も覚えておいてもらえたら嬉しいですね。真面目に頑張っている人が嫌な思いをしないように、つらい思いをしている人が少しでも楽になるように、を心がけてみなさんと接しています。みなさんに守ってほしい事はただ一つです。楽しむ時は「ルールの範囲内」で全力で楽しむ!それさえ守っていただければ、素晴らしい3年間になるよう全力で支援します。最後までよろしくお祈りします!

5組

坂根 泰弘
地歴・公民

本年度 担当 世界史A 剣道部顧問 剣道歴49年
趣味 読書(主に歴史関係)
大変な時期ですが、頑張って乗り越えましょう。



6組

坂元 靖
英語

6組担任の坂元靖です。担当教科は英語です。男子バレーボール部とオーケストラ部の副顧問をしています。校内では、学年職員室(南館2階)にすることが多いです。鳳高校は6年目です。1年生を担当するのは久しぶりなので、今はワクワク、ドキドキしています。75期生のみなさんの第一志望を叶える手伝いができればと思っています。Where there is a will, there is a way. 一緒に充実した高校生活を過ごしていきましょう。

7組

大谷 晶子
体育

1年7組担任の大谷晶子(体育科)です。75期の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい高校生活が、この様な予測し得ない状況のなかで始まりました。大変な試練の中のスタートとなりましたが、学校再開まで、健康を保ち、自学自習を重ねましょう。今はコロナの終息に向けて、人との距離をとらねばなりません、思いはひとつ。日常を取り戻すために耐えましょう。私もみなさんと授業でお会いできる日を待ち望んでいます。専門は体操です。逆立ち鍛えておきます。

8組

中嶋 健二郎
理科

ご入学おめでとうございます。理科の地学を担当する中嶋と申します。学年では進路行事の企画をさせていただきます。さて、新型コロナウイルスの蔓延によって世界中が不安定な時期に、人生の節目を迎えられて、きっと不安な気持ちを抱えたままなのではないでしょうか。今から約25年前、阪神淡路大震災が起こった時私は小学5年生で、鳳高校の近くでもある鶴山台から神戸の街に煙があがっている光景を目の当たりにしましたが、あの時に近い焦燥感に苛まれていることを私自身感じます。しかし、このような混乱の最中でも高校生活は始まります。中学と高校の違いは、一つに「答えの無い問いに自分で立ち向かう力をつけねばならない」ということです。例えば進路選択に答えはありません。迷う若者が多いのは至極当然のことなのです。ではどうすればよいのかと言いますと、考える力を養うこと、そして愛情を与え続けることなのではないかと私は考えています。考える力は根、愛情は水なのです。この問いにも、もちろん答えはありませんが。私は、鳳高校の校舎で自然の営みについてお話をさせていただく機会を得ました。あのときの光景がここに導いたのかどうかはわかりませんが、自分が咲かせることができた花の1つだと思っています。新しく鳳高校の一員となった本当に立派な子どもに、一緒に水やりをさせていただきませんか。それでは、3年間よろしくお祈りします。

